

## ステークホルダーの皆様へ

川崎重工グループは、造船を祖業とし、時代の要請に応じて、鉄道車両、航空機に進出、さらにエネルギー・環境製品や各種産業機器、モーターサイクルなど幅広いフィールドで事業を展開する総合重工業として発展してきました。その間、一貫して、企業価値の向上を目指し、株主、顧客、地域社会をはじめとしたステークホルダーの皆様とともに歩んでまいりました。

当社グループは、「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する“Global Kawasaki”」をグループミッションすなわち社会に対する役割と捉え、世界の人々の多様な要望にこたえる製品・サービスを、地球環境との調和を図りながらお届けすることを使命としています。そのため、技術の独自性・革新性を追求し、テクノロジーの頂点を目指してまいります。そして事業活動を通じて、世界的な環境リスクの高まりやグローバル化に伴う移動・輸送の活発化、新興国を中心とするインフラ不足、高齢化・労働力不足等の社会課題を解決し、国連が定めた持続可能な開発目標「Sustainable Development Goals (SDGs)」の達成にも貢献していきます。

この「Kawasaki Report 2018」では、ミッションの実現に向けた私どもの思いや事業戦略、企業としての社会的責任を果たすための日々の活動や皆様との関わりについてご説明しています。このレポートを通して当社グループへの理解をさらに深めていただければ幸いです。

取締役会長

村山 滋

代表取締役社長執行役員

金花 芳則



革新的な技術を基盤に、事業を通じて社会的な価値を提供し、  
企業価値向上に邁進していきます。

川崎重工グループの価値創造の軌跡

### 快適な移動・輸送手段の提供

1897年  
川崎造船所第一番船となる  
貨客船「伊豫丸」進水



1925年  
ヘルシウ式  
電動油圧舵取り機を搭載した  
商船「ふるりだ丸」竣工



1964年  
0系新幹線電車を  
国鉄に納入



1972年  
モーターサイクル「Z1」  
発売



1979年  
「BK117」型  
ヘリコプタ初飛行



### 自動化による高齢化・ 労働力不足への対応

1969年  
国産初の産業用ロボット  
「川崎ユニメート2000型」1号機完成



### 社会インフラの充実

1991年  
当社シールド掘進機による  
英仏海峡海底トンネル  
掘削成功

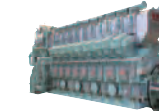


1998年  
当社が主塔を担当した  
明石海峡大橋が開通



### クリーンエネルギーの創出

2007年  
カワサキグリーンガスエンジンが  
世界最高の発電効率  
48.5%を達成



2015年  
低NOx水素専焼  
ガスタービンの  
燃焼技術を開発

